

校内研究・研修

(1) 研究主題

教科等	研究主題	指定区分・指定内容	「読み解く力」 との関連
総合的な学習の 時間	主体的に課題追究し、情報を整理・ 分析できる児童の育成～ICTの活用を通 して～		○

(2) 主題設定の理由

本校では、「自ら学び、支え合い、たくましく生きる富永っ子の育成」を教育目標とし、知・徳・体の調和のとれた、心豊かでたくましい子どもの育成を目指している。児童は、素直で、与えられた仕事や学習に対して真面目に取り組むことができる。活動への興味や関心が高まると、さらに熱心に追求する姿が見られる。また、仲間と協議したり異年齢と仲良く交流したりするなど、他者と円滑な人間関係を結びつつ社会性を育んでいる。

昨年度から総合的な学習の時間の研究に取り組み、研究主題である「生き生きと主体的に学ぶことができる子供の育成～探究的な見方、考え方を働かせて～」を目指し取り組んできた。富永の自然や文化、偉人に目を向けて、自ら学びたい、調べたいと主体的に取り組む姿が見られた。

しかし、意欲的に調べ、模造紙や新聞などにまとめることができる半面、「自ら課題を見付け、計画を立て、課題追究をすることができず、活動が滞る児童」や「収集した情報を整理・分析できず、調べたことをそのまま書き写して発表する児童」が見受けられた。このような姿が見られるのは、児童が活動の見通しを持つことができていないことや、収集した情報を比較・分類し傾向を読み取ったり、複数の情報を組み合わせて新しい関係性を創り出したりするなど、情報に対しての自己の考えを広げ、深める方法を知らないためだと考えた。

そこで今年度は整理・分析を通して、収集した情報を比較したり、分類したり、関連付けたりして整理を行う学習活動を重視する。また、情報に対して考えを広げたり深めたりするための思考ツールとしてICTの活用を取り入れる。以上を研究内容に据え、今年度の研究主題を「主体的に課題追究し、情報を整理・分析できる児童の育成～ICTの活用を通して～」として研究を進める。

まず、子どもの興味・関心を問題意識へとつなげていきながら、子どもの主体的な探究活動を進めていく。そして、協働的に学習できる学級集団づくりを行いながら、整理・分析に力を入れた探究活動を進めていくことで、学校教育目標のめざす『自ら学び、支え合い、たくましく生きる富永っ子の育成』につなげていきたい。

(3) 研究の内容と方法

I 教科 総合的な学習の時間

II 内容 授業研究 教材研究 授業実践

III 方法 ◇授業研究、教材研究、授業実践を通して研究する。

P: 教材研究、指導案づくり・事前研究会

D: 授業実践…(各学年部)全体研3本

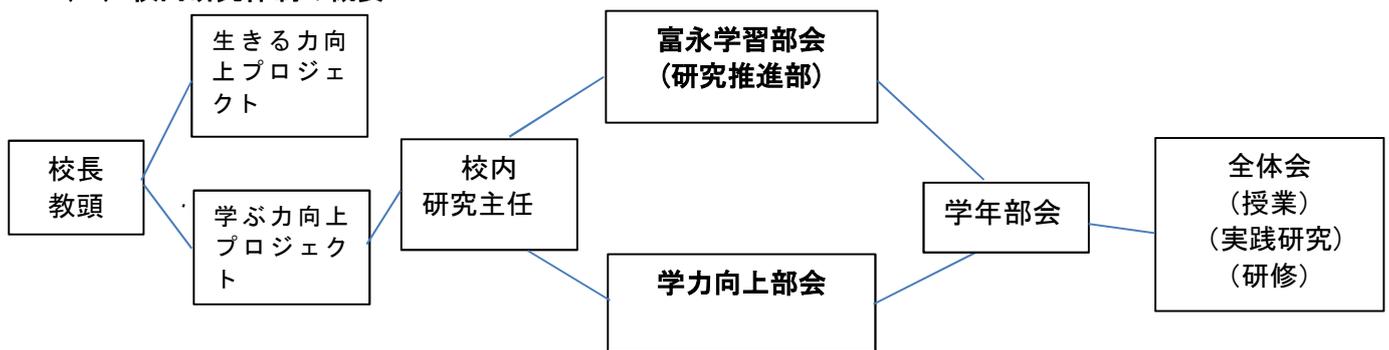
C: 授業研究会…グループ協議によるふり返り・評価

A: …講師による助言・指導を受け、改善し、研究を深め、重ねる。

(4) 研究・研修計画

月	校内研究	職員研修
4	○地域学習部会 研究テーマ・研究方法・研究計画	◇防災計画の共通理解 ◇教科等全体カリキュラムの作成 ◇研修計画立案
5	○校内研究会 研究協議5月22日(水)	◇いじめ防止研修 ◇危機管理に関する研修
6	○ 校内授業研究会 6月19日(水) 第6学年研究授業参観 研究協議	◇救命救急法研修 ◇不祥事防止(体罰)に関わる研修 ◇食育に関する研修 ◇特別支援教育に関わる研修I
7	○ 校内研修7月下旬	◇学校評価 ◇情報・モラルに関する研修 ◇雨森芳洲に関わる研修
8	○ 地域学習部会	◇生徒指導・教育相談研修 ◇人権・同和教育研修
9		◇国際理解教育に関する研修 ◇教科研修
10	○ 校内授業研究会 10月16日(水) 第1学年研究授業参観 研究協議	◇富永の子から学ぶ会 ◇読み聞かせの力を高める研修
11	○ 校内授業研究会 11月13日(水) 第3学年研究授業参観 研究協議	◇虐待防止に関する研修 ◇特別支援教育に関わる研修II
12	○ 地域学習部会	◇人権教育に関わる研修 ◇学校評価
1	○ 学力向上訪問 1月15日(水) 第2学年 研究のまとめ	◇ICT研修 ◇不祥事防止に関わる研修
2	○ 校内研究会 次年度に向けて	◇次年度教育課程の編成 ◇健康・体力向上に関わる研修
3		◇学校評価 ◇研修の反省と次年度の計画

(5) 校内研究体制の概要



(6) 過去の研究主題および指定研究歴

令和元年度～4年度 : 学力向上をめざした授業改善

～主体的に学ぶ児童の姿を求めて～〔1年次～4年次〕

教科: 国語科と算数科 (令和元年度と2年度)

算数科 (令和3年度と4年度)

令和5年度: 主体的に学ぶことができる子どもの育成

教科: 総合的な学習の時間